

コンクリート製品再生利活用促進事業のイメージ

従来



工事現場

現場対応

- ①水路として再利用
- ②ストックヤードへ搬出
→ 他工事での利用
- ③移動破碎機での破碎
→ 敷砂利等への転用
- ④中間処理施設へ搬入

問題点

- ①規格の不一致 → 活用が限定
- ②ストックヤードの飽和 → 搬出できない
- ③場所が限定される。非循環的使用
- ④活用が路盤材に限定→舗装路盤材の需用減少

循環型社会の形成

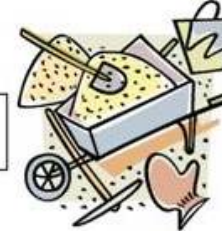


更新時



- ①工事場所から中間処理施設までの運搬
(積み込み、運搬、中間処理)

中間処理施設



再生骨材

- ②骨材選別機導入支援

- ③再生骨材を使用した試験等



再生製品搬入

- ④全体調整
- ⑤再生製品の広報支援及び工事での優先調達

製品工場

≪再生粗骨材を使用したコンクリート製品≫



小割したコンクリート



破砕作業



粒度調整と異物の除去



再生骨材
(生コンの材料)



品質確認(強度、形状寸法)



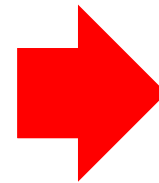
脱型



生コンの製造、成形



出荷



施工